

## 研修会報告

平成 27 年 1 月 17 日

文責:生理検査部門 三木 俊

研修会テーマ「不整脈の診断と治療」

開催日時 平成平成 27 年 1 月 17 日(土) 13:40 ~17:00

会場 東北大学医学部保健学科1階大講義室

「これからの心電図検査装置」フクダ電子株式会社

講演1:「検査技師が知って得する不整脈の読み方と考え方」

講師:JCHO 東京新宿メディカルセンター 石崎 一穂 先生

講演2:「検査技師に知ってほしい不整脈の診断と治療」

講師:若山医院 若山 裕司 先生

司会:東北大学病院生理検査センター 三木 俊 先生

生涯教育点数 専門 20 点

参加者 会員参加者 110 名 非会員 11 名 賛助会員 0 名 学生 0 実務委員(講師含む) 6 名  
計 127

### 内容

日常臨床で遭遇する不整脈の診断や治療を理解することは判読する検者にとって重要である。心電図の検査は簡単であるが、判読に迷う場合も多く、波形の解釈は奥が深い。今回、要望の多い「不整脈の読み方・考え方・診断法・治療法」の研修会を開催した。

講演1では、12誘導心電図・ホルター心電図で必ず遭遇する不整脈の読み方と考え方のコツや間違えやすい不整脈について分かりやすく講演して頂いた。一目でわかる不整脈判読法やポイント、危険な不整脈の考え方など基本的な内容からワンポイントアドバイス・ピットフォール等の解説があり、まさに検査技師が知って得する明快な内容であった。

講演2では実際の不整脈はどのように治療されているのか？不整脈専門医の立場から検査技師に知ってほしい不整脈の診断から最新の治療まで分かりやすくご講演して頂いた。不整脈診療ではカテーテルアブレーションや3次元マッピング、画像診断の進歩で心電図のより深い理解が可能となり、より確実な治療について分かりやすい内容だった。不整脈専門医の診断と治療を知ることで、日常業務で心電図はこの様に診断・治療されていることが明確になった。また、心電図をとる検査技師に知識や読み方から解析・治療と「考える心電図検査」を習得できたと思う。

全体を通して、今回の研修会で 127 名と多くの参加者があり、実務員を含めた参加者は居眠りすることなく、熱心に聴講し、時間が早く感じる大変充実した内容だったと思う。心電図講習会はニーズも高く、今後も宮城県臨床検査技師会の会員のための楽しく学べる研修会を多く開催したいと思う。